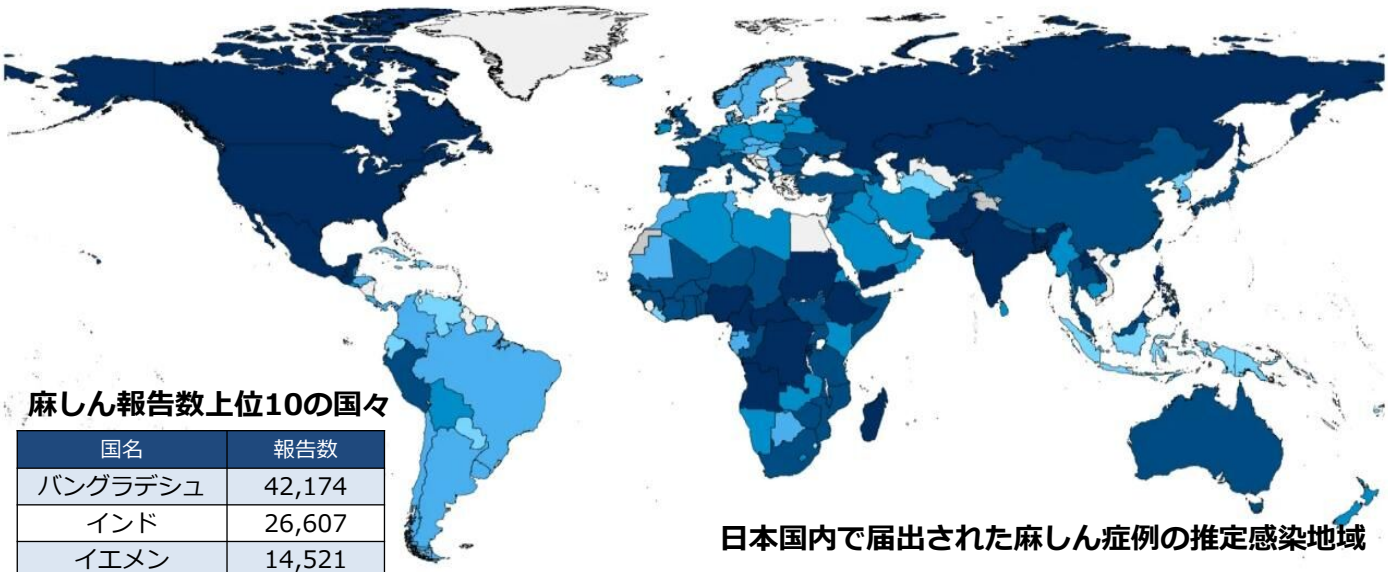
海外から帰国された方へ

帰国後2週間程度は 麻しん 発症の可能性を考慮し 健康状態に注意してください。



麻しん報告数上位10の国々

国名	報告数
バングラデシュ	42,174
インド	26,607
イエメン	14,521
メキシコ	12,495
パキスタン	11,037
カメルーン	9,653
カザフスタン	7,730
グアテマラ	6,832
アンゴラ	6,815
スーダン	5,766

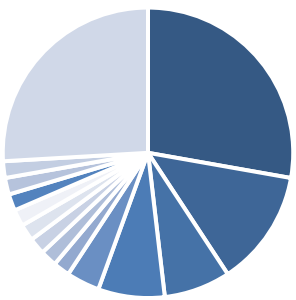
麻しん報告数
- 0 (46カ国：24%)
- 1 - 9 (34カ国：18%)
- 10 - 99 (38カ国：20%)
- 100 - 999 (41カ国：21%)
- ≧1000 (13カ国：7%)

WHO(世界保健機関）麻しん報告数（2025年12月～2026年５月）

令和８年８月現在；一部改変

https://www.who.int/teams/immunization-vaccines-and-biologicals/immunization-analysis-and-insights/surveillance/monitoring/provisional-monthly-measles-and-rubella-data

日本国内で届出された麻しん症例の推定感染地域



- インドネシア(15例)
- ニュージーランド(７例)
- インド(４例)
- ベトナム(４例)
- 台湾(２例)
- アメリカ合衆国(１例)
- イギリス(１例)
- シンガポール(１例)
- バングラディッシュ(１例)
- フィリピン(１例)
- マレーシア(１例)
- モンゴル(１例)
- 大韓民国(１例)
- その他

推定感染地域（詳細）：https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/2026/meas26-30.pdf

2026年第１週～第30週（令和7年12月29日～令和８年７月26日）

帰国後２週間程度は

- ☑ **高熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう**

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

厚生労働省

感染症対策課　2026/8/12作成